

寒さも和らぎ、うららかな春の訪れを感じる頃となりました。この良き日に、私たちの為に素晴らしい式を挙行していただき、心より感謝いたします。私たち四〇三名は今日、この敬愛学園高校を卒業します。

私はこの三年間で色々な事を経験しました。それは決して楽しいことだけではなく、辛いことや挫折そうになることもありました。しかし、それらを乗り越え、今日という日を迎えられるのはどんな時も、私の周りにはあたたかく接してくれる友達、時に厳しく、時に優しくご指導して下さいました先生方、そして何よりもいつも一番近くで支えてくれた家族の存在があったからだと感じています。

特に三年生として過ごした一年間。コロナウイルスの影響で例年通りの一年とはならず、失ったものや上手くいかないことも多くありました。

最後の一学期は二か月遅れて始まり、例年とは違うスタートに戸惑いや不安を感じていました。ですが、そんな状況でも、みんなで助け合うことで少しずつ不安や戸惑いは解消され、一歩ずつ前に進むことができました。また今年度はほとんどの行事が中止となり、私たちにあって最後の思い出作りの場がいくつも失われてしまいました。

た。しかし、例年と形を変えることで実現できたものもあり、みんな
で工夫しながら実施することでも思い出深いものとなりました。

先生方は学習面や進路相談だけでなく、心の面でも私たちを支
えて下さりました。私が毎週参加していた朝補修では、解説をして下
さるだけでなく、振り返りプリントを通してアドバイスや激励の言
葉をいただき、とても励まされました。そして毎日実施された単語テ
スト。返却されたとき、先生の赤ペンで書かれた good job の文字に喜び
を感じたことを、いまでは懐かしく思い出されます。

そして何より、今日まで私を支えてくれたのは家族です。この一年
は不安な事や戸惑いが沢山あり、なかなか前に進めない自分が惨め
に感じられることも多くありました。私が今、ここにいられるのは一
年間育ててくれた両親のおかげです。お父さん、お母さん、ありが
とうございました。心から感謝しています。

私はこのように三年間を通して沢山の人の支えて頂きました。こ
れから先、辛いことや悲しいことも沢山あるかもしれませんが。しかし
私は、今まで支えてくれた方々に恩返しができるよう、努力を惜しま
ず、何事にもひたむきに立ち向かっていきたいと思えます。

最後になりましたが、敬愛学園高校のますますのご発展を心より

祈念して答辞させていただきました。

令和三年 三月一日 卒業生代表 渡邊愛瑛